

年	組	名前
---	---	----

破れた商品届けた子ども 犯人扱い

日田市内のコンビニの経営者が、子ども6人が商品を盗んだと思いつき、犯人扱いして日田署に通報していたことが14日、分かった。児童1人が売られていた遊技用カードの袋が破れているのに気付く、6人で店側に知らせたところ、疑われたという。

日田のコンビニ経営者

「保護者らによると、6人は今月7日、店内の遊技用カード2袋が破れているのを見つけて店に届けていない」と反論した。8日に店側から保護者に「子どもが商品盗んだようだ」と連絡があり、児童2人とその保護者がコンビニを訪れた。店側は防犯ビデオを見て「座り込んでカードを拾っている姿が映って」と主張。児童は「や

保護者「善意踏みにじられた」

判明した。その後、店側から連絡は「経営者が本部に全て報告しているの、何も分らない」と話している。保護者の一人は「善意を踏みにじられ、子どもたちは傷ついている。謝罪だけでなく、なぜ犯人扱いしたのか理由をしっかり説明してほしい」と訴えた。コンビニの店長

(2015年2月15日朝刊23面)

日田市内のコンビニの経営者が、子ども6人が商品を盗んだと思いつき、犯人扱いして日田署に通報していたことが分かりました。

①店側の対応で、一番悪いと思われることは何ですか。

.....

.....

.....

.....

②児童たちはどんな気持ちを抱いたと思いますか。

.....

.....

.....

.....

③ ①②について話し合ってみよう。

.....

.....

.....

.....